



# 答えて市長！

## 一般質問

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は9月上旬となる予定です。

### 南部地域の

#### 中学校建設を急げ

安田 真也

設の考え方は。

〔問〕市長 児童生徒数の推移を慎重に見極めながら、早期に対応してまいりたいと考えている。

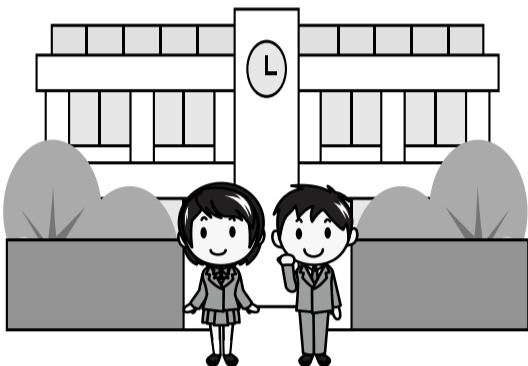
〔問〕市長が県議時代に発行したリーフレットによると、とある美南地区に住む人の声として、平成26年に中学校が完成する予定が建設未定になったとの会話を記載しているが、教育委員会として公式・非公式問わず、そのような発表をしたことがあるのか。

〔答〕教育長 過去に公式・非公式を問わず、新設中学校の完成年が平成26年であるとの発表を行ったことはない。

〔問〕庁舎建設に大きなお金をかけるよりも、未来を担う子供達への教育環境の整備こそ最優先すべきの真意は。多くの市民は庁舎よりも中学校建設を優先させると思っているが。

〔答〕市長 庁舎建設よりも中学校建設を優先させるということではない。

〔問〕前市長は平成32年を目的に建設を検討していた。市長は早期建設を訴えて当選したのだから、スピード感が必要では。建



### 医師会との

#### 関係修復について

加藤 克明

〔問〕医師会から除名された医療機関が除名になった理由は。

〔答〕市長 吉川医師会を設立する行動をとったことが除名理由。

〔問〕市長ブログの書き込みは、誤解を招く表記では。

〔答〕市長 インフルエンザの価格

を独自設定した為には書いていない。

〔問〕3医療機関（除名された2医療機関を含む）と個別契約を締結したが、医師会にも理解して頂けない状況、議会にも囂らず、契約するとは如何か。

〔答〕市長 市民が確実に受診できる体制が重要。是非、ここからは議会と医師会にも理解して頂き、事業を進めていきたい。

#### ◆フロリデーションについて

〔問〕事業推進の予算ではなく、虫歯予防等の情報提供の予算計上であり、国や県も同様の啓蒙・啓発・情報提供している。なぜ、事業実施もしていないフロリデーションを推進していると認識したのか。

〔答〕市長 前市長のコメントから今後も推進していくものと認識した。

### 『スーパー』の騒音・悪臭等から 住民の生活環境を守れ！

稲垣 茂行

〔問〕騒音・悪臭等の被害が続い

ているが、住民の『生活環境の保持』についてどう考えるのか。

〔答〕市民生活部長 公害という視点で見れば、関連法規による適正な管理が重要。大店立地法では、交通安全・騒音の発生等、周辺地域の生活環境悪化防止のため、適正な配慮を求めている。

〔問〕道路占用許可を下したのは、誤りではないか。

〔答〕都市建設部長 水路の『占用許可』は、吉川市道路等占用規制や道路法により判断した。当該水路は『市道』であり、水路上の橋は『通路』と考える。

〔問〕6月4日に開かれた店側と住民との話し合いは。

〔答〕市民生活部長 市も立ち会い、4世帯の住民と社長・店長が出席。深夜の騒音や悪臭、従業員のマナー等について話し合われた。解決には至らないが、直接話合いが持たれた意義はあった。

〔問〕市は今後どう対応するのか。

〔答〕市長 私は直接、地域の方々の苦しい声を伺った。この街で暮らして行くことが「幸せ」だと感じられるよう、出来る限りの事を考え対応していきたい。

### 地方創生へ吉川市は

#### どのように取り組む考えか

中村 喜一

〔問〕農地の集約化は地方創生の重要課題ではないか。

〔答〕市長 当市は農業振興地域の割合の多いことが、地域特性のひとつと考えている。第5次総合振興計画において生産基盤の整備や農業経営の活性化など魅力ある農業の振興をはかることとしている。地方創生への取り組みにおいても、農業振興について議論していく。

〔問〕計画策定プロセスに市民参加が必要ではないか。

〔答〕政策室長 市民の積極的参加に向け、市民アンケートや市民ワークショップ、パブリックコメントなどで幅広い年齢の方々から多様な意見を集約していく。

〔問〕「産業まちづくり地域」に墓地開発が進行中だが、計画意図に反するのではないか。

〔答〕市民生活部長 土地利用構想は、長期的視点に立って将来の方向性を示したもので、墓地については、今後は、自治会活動補助金を設け、自治会活動を支援していきます。



いては周辺環境への配慮がより求められる施設であり、周辺環境に配慮されるよう、今後、墓地埋葬等に関する法律施行条例の見直しを検討する。

### 「コミュニティ醸成に

#### 今後も支援に努める

降旗 聡

〔問〕「自治会活動への支援拡充について」①コミュニティ醸成・イベント開催助成制度の創設について。②健康増進・スポーツ行事開催助成制度について。

〔答〕市長 安心・安全に、地域で快適に生活していくためには、日頃から地域とつながりを持ち、隣近所の顔の見えるお付き合いができることが必要だと考えています。

地域のつながりを築く上で、基盤となるのが自治会であり、様々な活動を通じて、地域住民の交流や相互の理解が深められるものと認識しています。

このようなことから、市では、自治会活動補助金を設け、自治会活動を支援していきます。

今回の補正予算で、介護予防教室の開催に対する奨励交付金を計上させていただきました。

現在、自治会活動支援としてスポーツなど個別の助成制度は考えていませんが、今後も、引き続きそれぞれの自治会で様々な事業を通じて、地域コミュニティが醸成されるよう支援に努めたいと考えています。